

一中地区まちづくり市民会議第4分科会（第3回）

会議結果要点記録

I 開催日時 平成25年5月19日（日）午前10時～午前11時30分

II 開催場所 1中地区コミュニティセンター研修室2

III 出席者 事務局を含め11名
他にオブザーバーとして、大山児童福祉課長、川又高齢福祉課長

IV 会議結果概要

1 高齢者・子育て家庭の居場所づくりについて

(1) 1中ふれあいサロン（仮称）の具体例について

高齢者・子育て家庭に係る居場所について、具体案を別紙のとおり事務局から提示。
事務局としては具体例2を提案する。

各委員の主な意見は次のとおり

- ① 具体例2で、まず始めてみることに意義があり、必要により軌道修正すればよい。
- ② 運営スタッフをどのように確保するかが大事。
- ③ 参加する人は、他の場所と掛け持ちの人が多い。このような人はどこの場所にも参加する傾向あり。「地域との交流がほとんどない」という5%の人たちに対する働きかけをどのようにするかが重要。
- ④ 民生委員は、1人暮らし高齢者を把握しているので、当該民生委員を通じて働きかけるというのも、一方法ではないか。
- ⑤ 高齢者クラブへの加入率が低下の傾向にある。高齢者クラブへの働きかけも必要。
- ⑥ 市が設置する高齢者向け総合相談機能である「おとしよりセンター」を活用してよい。
- ⑦ 指導者として、保健推進員、食生活改善推進員を活用してはいかがか。
- ⑧ メニューが沢山提起されたが、あまり多すぎると整理が大変。那珂市の例だが、隔週で「健康体操」のあと「食事会（カレー）」「紙芝居」とメニューをパターン化していて、徐々に参加者も増えている。毎回メニューが決まっていると、効率も良いというメリットはある。
- ⑨ 子育てサロンの場合、親も何らかの方法により、参加させることが必要。子供を講師に委ね、親はメールに夢中といったケースがある。親育ても必要。

(2) 1中ふれあいサロン（仮称）開設に伴う実施メニュー等について

サロン運営に当たり、より具体的なメニュー及び適任指導者等について、5月31日（金）までに別紙により提出するよう、各委員に要請した。

これらの提出内容等を踏まえ、最終案の作成は正副委員長及び事務局に一任することとし、次回委員会に最終案を提示することとした。

以上